		$\overline{\Box}$						
No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年齢		起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	15 [~] 16	工場内で掃除をするため、ダクトファンの蓋を何度も閉めよう としたが固く、パッキンを押さえていたときに左人差指を挟み 負傷した。	70	7	419	1~
2	2017	12	12~13	出荷準備のため、社内の階段を使って3階から2階へ下りる途中、足を踏み外して5段くらい階段を滑り落ちた。 その際、背中と脇を打撲し、左足首を捻ったものである。	31	1	413	1~ 9
3	2017	10	14~ 15	革の干し作業のために干し場に上がるとき、梯子が動いたため 「危ない」と思い、咄嗟に飛び降りたところ、踵から着地して 負傷した。	68	3	371	10 ~ 29
4	2017	10	9~ 10	工場内の皮干し場で皮を干す作業をしていた途中で、皮をつる す金属性のフックで手を負傷した。 重い皮をフックにかける 時、掛け損ねて負傷した。	60	8	529	1~ 9
5	2017	9	10~ 11	工場3階のロフト部分に脚立を使って部材を荷揚げする際、脚立 自体がすべり、約2mの高さから落下、腰から落下したあと、右 足かかとを地面に打ちつけるような体勢になり骨折した。	38	1	371	10 ~ 29
6	2017	9	23~ 24	廃液処理場で、レザミン缶に入った廃液と水(混合水)を処理するため昇降式台車に乗せ700mm上昇させた。 左手でレザミン缶の取っ手を持ち、右手で底に手を添え、ろ過台に向け傾けた時に缶が転がり、不安定となり台車から落下した。 取っ手を持っていたため、缶と共に前のめりになり跳ね返った廃液が顔	25	12	514	100 ~ 299

				にかかり両目に入った。 メガネの着用ルールはあったが保護メ				
				ガネの着用はしていなかった。				
			11~	現場で70kgの鉄板を2人で下ろす作業をしていたとき、バラン				1~
7	2017	8	12	スを崩してお尻から転倒し、腰と肩から背中にかけて打撲し た。	44	2	521	9
			13~	革を絞るセッター機にゴミが付着していたため、ゴミを取るた				10
8	2017	8	14	め機械を逆回転させて清掃しようとしたところ、誤って手を挟	47	7	163	~
				んでしまい、セッター機に巻き込まれ負傷した。				29
			16~	所内にて、外注先から届いた商品を、脚立を使用(天板には				10
9	2017	6	17	乗っていない)して棚の一番上に載せていた時、バランスを崩	40	1	371	~
			17	して転倒し負傷した。				29
				雨天の中、自転車で走行中、信号に差し掛かった時、赤信号に				10
10	2017	3	12 [~] 13	変わったため急ブレーキを掛けたところ、バランスを崩し左側	68	2	362	~
				に倒れ、あごと肘を強打した。				29
				当社工場内で、コラーゲンを作るための牛皮を粉砕する機械の				1.
11	2017	1	8~9	清掃をするとき、機械を止めたがまだ止まりきれていないのに	67	7	162	1~ 9
				右手を入れてしまい、人差し指と、中指を負傷した。				
				自動ロール裁断機で巾50cm、厚さ2mmのスポンジロール材を				
			16~	長さ110cmに裁断中、裁断出口にスポンジ材がよれて出るた				50
12	2017	1	17	め、1枚1枚整えていたところ、作業を裁断刃先近くで行うよう	50	8	169	~
			'	になり、指先が刃部に入り右手人差し指を負傷した。 安全カ				99
				バーは設置してあるが刃部に指が入る隙間があった。				
				工場内にて、服飾ベルト用のバックルをベルトにつけるとき使				
			14~	用する革製の附属を専用の小裁の機械で革を裁っていたとき、				30
13	2016	11	15	刃の近くに設置されている安全カバーが通常時より上がってい	39	8	169	~
			ر ا	た。よく確認せず、そのまま使用していたら手が入り、指を				49
				切ってしまった。				

14	2016	10	8~9		65	7	169	1~ 9
15	2016	7	8~9	傷した。 工場内のバストル場で原皮の仕込みをしていて、バストルに皮を入れる作業をしていた。パレットの上に置いた原皮をバストルの入れ口の所まで上げてパレットの上に立ち、皮を入れていた。高さ2m50cmぐらいの所で作業していたが、足を滑らせて床に落下した。		1	222	10 ~ 29
16	2016	7	12~ 13	工場内のプレス裁断機を使用して皮革の型抜きをしていた。数量を早くこなそうと思い、作業スピードを上げる為安全装置を使用せずにプレス機で裁断できるようにした。作業中、うっかりプレス機の中に指を入れ人差し指、中指、薬指を挟んでしまった。	37	7	169	1~
17	2016	6	8~9	工場3F作業場にて、穴あけ機で穴あけ作業中、操作手順を誤り、下ベルト差し込みの穴あけ作業中、左手中指を置いたままフットスイッチを作動させた為、負傷した。	45	7	169	50 ~ 99
18	2016	6	14~ 15	インパネ用台車に積まれた75枚の革仕掛かりを1号機前から2号機へ前後2名に分かれ運搬中、被災者は台車前方で舵取りしながら運搬していた。後方作業者が台車を押すスピードが速く、被災者の右踵が台車フレームに巻き込まれ、左膝を捻りながら転倒した。	37	2	362	500 ~ 999
19	2016	4	15~ 16	工場内にて、発送業務において、カゴに載込を入れキャスタ専用台車に2段3段載せ、倉庫搬出口まで運ぶ作業で3段目を積む時、両手だけでは持ち上がらないので、自分の胸に当て積もうとしてカゴの縁が胸を圧迫した。	31	19	611	50 ~ 99
20	2016	2	13 ~	工場内において、荷物運搬エレベーターに首を挟み負傷した。	26	7	214	1~ 9
								30

21	2016		9~ 10	グラインダーで靴を研磨後、機械を止める際に、左手がはさ まって、親指を骨折した。	74	7	153	~ 49
22	2015	12		裁断機を手動操作で生地を裁断作業中、裁断後、機械の「押さ え」にひっつき上昇する「がく」をはがそうとした右手人差指 先が、「押さえ」中央部の穴に引っかかりそのまま上昇して、 先に上昇した刃先で負傷した。	58	8	169	_
23	2015	11	11~ 12	配達中に橋の上から誤って用水路に転落してしまい左足の踵を 骨折した。	54	1	417	10 ~ 29
24	2015	9	10~ 11	工場内で革の水絞りをしている時、パレットの間にはさまった 革を取る為力を入れてひき上げたところパレットが左足に落下 した。	54	4	379	1~
25	2015	8	17~ 18	出入り口のドアを閉め、振り返る際に、台車の取っ手にかばん がひっかかりバランスを崩して、足元の台車の車輪でつまずき そのまま転倒した。	64	2	612	10 ~ 29
26	2015	8	15 ~	カシメ打ち機を使用中、誤って手を入れてしまい右親指を打っ てしまった。	21	7	169	50 ~ 99
27	2015	6	12~ 13	工場内で靴先端部の芯をシンナーに浸す作業をしていた。その作業は火の気のない風通しの良い場所で行うよう指示されていたが、電熱線のある先芯プレス機の側で作業してしまい、シンナーが揮発し電熱線が原因で発火した。自分で消火しようと試みた際に手と足に火傷を負った。	39	16	512	30 ~ 49
28	2015	5	11~ 12	鞄の製造過程において、超音波ウエルダー機で作業中に誤って 右手中指と薬指を機械に挟んでしまった。	46	7	169	10 ~ 29
			13~					1~

29	2015	2	14	工業内で皮を背割りしていた時、腰をひねり負傷した。	62	19	911	9
30	2015	1	9~ 10	得意先の工場内にて豚皮を成形中、誤って左手の手の平に包丁 で差してしまった。	40	8	379	1~ 9
31	2014	11	17~ 18	ランドセルの製造作業に従事していたところ、足元のプラス チック製箱につまずいて転倒し、肘を強打した。	37	2	379	50 ~ 99
32	2014	11	7~8	生地の切開機で、製品加工中に生地裏面のゴミなどを取るロールに粘着テープを巻き付ける作業をしていたところ、粘着テープが手から離れロールへ巻かれたため、巻きつかれたテープ本体を右手で取ろうとし、右手を出したところ着用していた軍手がテープ粘着部に付き同時に右手ももっていかれロールとロールの間(40mm)に右手及び前腕部が巻き込まれ被災した。	25	7	163	50 ~ 99
33	2014	10	19~ 20	鞄の製造を行う3階作業場で鞄のパーツ金具の打ち込み作業をしていたところ、業務確認の声掛けに返事をした折、打ち込み機のペダルを誤って踏んでしまい、機械が作動して左手中指先を打ち込んでしまった。	30	7	169	30 ~ 49
34	2014	8	7~8	工場内の排気ブース洗浄のためにその場所のモーターを外そう としたとき、モーターが脱落し同時にその上の鉄骨がずれ落ち 顔面に直撃した。	24	6	372	0
35	2014	7	16~ 17	靴製造工場現場にて、椅子に座って底付作業を行っていた際、 立ち上がろうとして機械に手をついたところ、誤ってペダルス イッチを踏んでしまい、圧着機に左手小指先を挟み、骨折し た。	50	7	169	30 ~ 49
36	2014	6	16~ 17	バックモールド横でかごをまたいだ際、後3足がひっかかり前方 方向へ頭から倒れておでこを床にぶつけた。	59	2	419	100 ~ 299
				トカゲ皮の裏面のバリ取りをする為サンドペーパー掛けをして				

37	2014	6	13~ 14	いた際、皮に折り目があったと思われ、急にサンドペーパー機 に皮が引き込まれて、その際皮を保持していた左手も一緒に巻 き込まれ負傷した。	32	7	169	10 ~ 29
38	2014	5	11~ 12	高さ1.5mの足場にて粉砕機のネジ穴を合わせようとバールを使用中、バールが外れた反動で後ろ向きに落下、腰、背中を強打した。	50	1	162	1~ 9
39	2014	2	17~ 18	帰宅前、工場シャッター前で荷物を運んでいたところ、シャー ベット状の傾斜面で足を滑らせ腰付近を強打し骨折した。	40	2	719	100 ~ 299
40	2013	12	15~ 16	荷物を台車に積み、エレベータに移動中、その横にあったパレット(荷台)に台車が接触した際、パレットが倒れ、パレットの下敷きとなり、足首を骨折した。	46	5	379	1~
41	2013	12	16~ 17	完成品を1Fの梱包ヤードに運搬する際、階段を使ったところ、 下から5段目のところでよろけ、前方に転倒。負傷した。	63	1	413	1~ 9
42	2013	11	12 ~	ホイストにて製品を吊り上げ、送出し台車に移動する際、吊り上げた製品底部が下積み製品と接触し、スリングが外れ、製品が落下。落下した製品が製品台車に当たり、バウンドして被災者の肩にぶつかり、反動でターレットに衝突した。	59	4	611	100 ~ 299
43	2013	7	16~ 17	脚立に乗り、蛍光灯の笠の上部の拭き掃除をしていた際、向き を変えようとしたところ、バランスを崩し、壁に後頭部を打 ち、床に落下。腰部を強打し、骨折した。	45	1	371	30 ~ 49
44	2013	6	16 ~	靴の製造現場にて、被災者が先芯プレス機を始動させた際、 誤って手の中指をプレス機で挟んだ。	26	7	169	10 ~ 29
45	2013	6	9~ 10	乾燥機のボルトが折れ、反動で鉄板が地上に落ち、被災者に当 たった。	59	4	391	1~ 9
								100

46	2013		17 ~	屋外駐車場の自家用通勤車両へ向う途中、路面が凍結していたため、転倒し、大腿骨を骨折した。	59	2	719	~ 299
47	2013	3	7~8	型押機のVベルトをモーターに噛み合わせようと手でVベルトを 操作した際、Vベルトが動いた為、手がVベルトに巻き込まれ た。	24	7	129	10 ~ 29
48	2013	3	15 ~	豚皮の脂を取る機械で脂取り作業を2人で行っていた際、豚皮が機械の間に落ちた為、皮を引き抜こうとしたところ、機械のローラーに手を挟まれた。	62	7	163	30 ~ 49
49	2013	2	9~ 10	マドラーミシンの調整中、ミシンのペダルを踏み動かしたとこ ろ、針棒の下にあった手示指を針棒で打ちつけた。	63	7	169	10 ~ 29
50	2012	12	9~ 10	工場屋根にて、かんじきを履き、スノーダンプにて雪下ろし作 業中、トタン屋根と凍った雪が滑り、バランスを崩し、小屋根 にバウンド後、地上に落下し負傷した。	54	1	415	1~ 9
51	2012	12	2~3	工場内にて、靴の仕上げ時に使用する溶剤を片付ける為、移動 する途中、ふりむいた拍子に手がぶつかり溶剤がこぼれ、ライ ターの火が引火した。	50	11	512	10 ~ 29
52	2012	10	10~ 11	ゴムロールを拭き掃除する為、回転中の状態で(回転させた状態でないと拭けない為)ウェスを当てていたところ、作業の中ウェスがゴムロールに引張りこまれそうになり、一緒に中指もロールに巻き込まれ、咄嗟にすぐ引き抜いたが手中指のツメが剥がれた。	52	7	163	30 ~ 49
53	2012	8	15 ~ 16	ロールコーターで皮にエナメルを塗り、下のフェルト生地を雑 巾で拭いていた際、カッターに手を入れ、負傷した。	34	7	169	10 ~ 29
54	2012	7	10~	製甲から木型を抜く作業中、木型を戻した際、コンテナを2段	55	19	379	50 ~

		11	重ね、手で持ち上げたところ、負傷した。				99
55	2012 5	8~9	塗装機での作業中、革が落ちそうになったため、下の方向に手 を伸ばしたところ、服がフェルトと線に挟まれ、引っ張られ、 機械の方へ巻き込まれ、負傷した。	60	7	169	1~
56	2012 5		社内の通路を歩行中、台車につまずき、転倒。手首を骨折し た。	54	2	362	10 ~ 29
57	2012 5	12 ~	ファッションベルトに飾り用の鳩目を打っていた際、誤って親 指を打った。	33	7	364	1~ 9
58	2012 5	12~	草を全体的に薄くする作業中、草が機械に詰まり、機械を止めずに手前の台(安全の為に取り付けている台)を外し、手で押し出そうとしたところ、負傷した。	41	7	169	30 ~ 49
59	2012 5	9~ 10	仕事場の入口前にて、道路の縁石に躓き、足首を骨折した。	58	2	417	1~ 9
60	2012 4	9~ 10	ロール機で靴底ゴムを通す作業中、靴底をロール機にセットしようとした際、手を放すのが遅れ、誤ってロールに手を挟み、 負傷した。	58	7	163	1~
61	2012 3	12~	工場の1階にて、折りたたみ式パイプ椅子を踏み台にして、高いところを掃除している際、バランスを崩し、転倒。手首を骨折した。	58	1	911	100 ~ 299
62	2012 2	14~	通常の作業場所で皮のエンタチ作業中、右ななめ前方より フォークリフトがバックしてきて作業台に衝突し、それにより 作業中の台車が動き後方の台車との間に挟まれた。	46	7	222	30 ~ 49
63	2012 1	13~ 14	事業場の作業場にて、靴製造圧着中、指を挟み、指を負傷し た。	34	7	169	1~ 9
64	2012 1	13~ 14	靴製造圧着中、指を挟み、指を負傷した。	34	7	169	1~ 9

65	2011 9	9 3~	革運搬用台車を次の工程に運搬していた際、緩いスロープに差しかかったところで、台車置き場に仕掛け品があった為、一旦台車を止め、再度運搬しようと力を入れたところ、台車がコントロールを失い、右方向に立て直そうとしたが、右手が前方に行き過ぎたため、右膝が落ちる形で腰を捻った。	44	19	362	500 ~ 999
66	2011 9	16- 17	工場3階のランドセル組立て作業場において、被災者と組立GのAの2人が、ランドセルに鋲を打つ機械(中空鋲リベットセッター約350kg)を、鉄板の上に動かそうとした際、その機械が傾き、Aは反対側にいて、支えようとしたが支えきれず、被災者の左足の上に倒れてきた為、下腿骨を骨折した。	31	6	612	100 ~ 299
67	2011 9	9 8~	業務中、作業が終了し、作業台から降りようとした際、横に置 9 いてあった茶箱に、足を引っ掛け転び、床に膝を打ち付けた。	46	2	416	50 ~ 99
68	2011	8~	工場内で荷物をおろす為、トラックから降りた際、右足を捻っ 9 て負傷した。	34	19	417	1~ 9
69	2011 8	9~ 10	敷地内でフォークリフトにフレコン(1 t の塩袋)を入れ物に 出す際、塩袋の下にある口を開けるひもを取ろうとしたとこ ろ、リフトのつめから塩袋がはずれて落下し、塩袋と入れ物の 間に腕がはさまれ、両腕を骨折した。	62	4	222	1~
70	2011	10 ⁻	作業場にて、別の作業者がスーツケースと枠を圧着させるエアシリンダー圧着機で作業中、本体と枠の締まり具合が良くないのでA本人が確認しようと手を伸ばしたところ、フットスイッチをはずした為、シリンダーが戻り、圧着機本体に右手をはさみ、右手の人差指に裂傷と、薬指に骨折等を負った。	21	7	169	100 ~ 299
71	2011	14 ²	倉庫にある生地を並べている棚で、生地の整理をするため、棚に上がって整理してる際、手をすべらせ腰から落ち、腰を強打した。	44	1	391	10 ~ 29
						II	

72	2011	6	8~9	工場内で台車の上へあがり皮をつり上げる作業中、台車があや まって動いた為地面に転落し、ひじと頭部を負傷した。	63	1	416	1~ 9
73	2011	4	12~ 13	製品の型抜き後、次の注入を行う為に金型組み立て作業中に、 金型上部と下部のネジ位置を合わせながら、上部金型を下ろし ている時に指(左手薬指)を挟んた。	56	7	154	1~ 9
74	2011	4	14~ 15	会社工場内にて、豚革のスライス加工及び豚革の束(約15kg)を両手で持ってパレットに積む作業をしていたところ、普段より重かったため左肩と首筋を痛め負傷した。当日は様子を見て、翌日病院へ行った	49	19	611	1~ 9
75	2011	3	21~ 22	ビリヤード製品を製造している A 社からの依頼で製品テストをするために本人経営のビリヤード場に向かう途中、製品を自宅に置いていた為一度立ち寄り、そこから本人経営のビリヤード場にバイクで向かっている際、先行車で電車停留所が見えず、停留所に衝突した。	34	17	231	1~
76	2011	2	8~9	工場内セービン場においてなめし革を一定の厚みにする為の作業中にその革と一緒にセービン機械の刃に引き込まれ左手指先の中指と薬指の第一関節より先を切断欠損した。	62	7	169	10 ~ 29
77	2010	12	14~ 15	12/2木PM2:40頃、電動リフト(1t)にパレットを乗せて荷物を取りに行く時に坂を下っていて突然リフトが左に急回転して右のタイヤが浮いた為、危険を感じ、リフトから飛びおりた。その時に左足ふくらはぎに違和感を感じたけれど、そのまま、定時まで仕事した。12/3(金)翌日、(私用の)葬式の為、休暇を取り参列していたが、途中、左足がはれてきて痛く病院にて診察してもらった。	61	19	921	50 ~ 99
78	2010	12	16~ 17	A工場のセッターにおいて革を伸ばす作業中、セッターに革を入れ足踏みスイッチを踏んだところメッキロールにゴミを見つけた為右手でゴミを振り払おうとして回転しているメッキロールに右手を巻き込まれ負傷した。	48	7	163	50 ~ 99

79	2010 1	11-	クレーンで品物を移動中その震動の為巻物状品物が転り始め左 手の人差し指を挟まれ、すぐさま引抜いた時、同時に人差し指	54	7	529	30 ~
79	2010	12	の皮膚が剥れた。			329	49
80	2010 1	0 13	工場2階で出荷前の革の色確認中に色見本を吹付場に取りに行こった小走りで左方向に走っていて小走途中に急に右に方向転回をして身体の向きを変えたら右足膝がぐきっとなってしまった。		19	921	10 ~ 29
81	2010 1	0 8~	タイコ場(なめし用ドラムのある場所)でタイコから出した皮をパレットに積む作業をしている時、床にあるぬれた皮に足をとられて転倒しそうになったため、こらえようとしてふんばった。その時腰に激痛があり、その場から動けなくなった。	41	19	921	1~
82	2010 1	0 17-	昨年の12月中旬頃、1階仕上作業場に於いて、コテを掛けていた時(甲革が通常より堅かった)に、右手に痛みを感じ、病院に行ったら、骨に異常なしと診断され、その儘仕事をしていたら、痛みがひどくなり、2月3日に流れA病院で診察したら、右手月状骨が潰れていると診断された。(キーンベック病)	59	90	911	10 ~ 29
83	2010 9	6~	製造1課内空機打ちドラム作業中、ドラムから革を取り出すのにドラムを一旦停止させた。非常停止ボタンを押し、足踏み外し防止板を前に倒して、右側蓋固定用ハンドルを外そうと両手で緩めている最中にドラムが手前方向に回りだした。自力でハンドルを握ったまま、回転を支えようとしたが、支えきれず、とっさにハンドルを離したものの左手が遅れたため、中指がハンドルと足踏み外し防止板との間に挟まれ負傷した(作業標準書ではハンドルを緩める前に蓋にホイストクレーンのフックを掛ける手順となっている。)	27	7	163	300 ~ 499
84	2010 9	9~	当社工場内において、作業に必要なカッターの刃を交換しよう する際、新しい刃を入れようとしたが入らなかった為強く入れ ようとしたところ、刃がすべり左手親指の先を切傷してしまっ	61	8	364	10 ~

				た。				29
85	2010	9	10~ 11	ロール回転中クリーニングドラムに巻いてある紙がづれたので 直そうと思い手を入れた折、右手首から回転中のロールに巻き 込まれ、右腕を圧迫し骨折には至らなかったが負傷した。発生 直後、現場長(A課長)が機械のスイッチを止めた。	19	7	163	30 ~ 49
86	2010	7	10~ 11	作業中、あやまって裁断機に左手を挟まれ中指を切断	60	7	169	1~ 9
87	2010	6	14~ 15	第二合皮工場にてスパイク機のスタート準備中、袖布を通していた。駆動の入ったゴムロール上の袖を送っていたところ、 誤ってゴムロールとガイドロールの隙間に右手を入れてしまった。	43	7	163	100 ~ 299
88	2010	4	10~ 11	当社工場内において、出し縫い機で靴底の出し縫い作業中、出 し縫い機の針が折れ、その際眼鏡をかけていなかった為、折れ た針の破片が右目に刺さり負傷した。	71	4	169	10 ~ 29
89	2010	4	11~ 12	工場内、底付部において、2時間交代でヒールシート付けを行なっており、被災者は10時から別作業をしていたが、11時30分頃、その時のヒールシート作業者に釘詰りの調整を頼まれ、機械附属の踏台に上がり、機械上部にある数本の釘ホースの上から針金でつつき調整していた。調整の時は作業者が、釘出を確認しながら外でやっていたが、今回は上で調整していた被災者がまだ手を置いている状態で下の作業者が声掛けを忘れ、ドライバーの打ち込み調整部の上下可動部分が一瞬で、被災者の右手第3、4指先を押しつぶした。	54	7	169	50 ~ 99
90	2010	1	17~ 18	事業所内で後かたづけ中段差につまずき転倒した。	69	2	417	1~
91	2009	12		退社時に会社玄関を出てすぐの段差(1~2cm)に引っ掛かり、前方に転倒した。膝を強打し骨折した。	50	2	418	100

							299
92	2009 8	13~ 14	工場において、皮の染色作業をしていた。ドラムから染色の済んだ皮(約20kg)を取り出した時、はずみで腰から転倒し、腰と背中を打って負傷した。	70	2	529	1~ 9
93	2009 6	16~ 17	工場において、コンピューターミシンでカバンの部品を縫いつ ける作業をしていた。その際、誤ってミシンの針が指に刺さっ て負傷した。	30	8	169	10 ~ 29
94	2009 6	16~ 17	会社内断裁室でカバンを製造する生地を何枚か重ねて、電気丸 刃裁断機でカットしようとした時に、引っ掛かりを感じ、丸刃 が回転したまま(スイッチを入れたまま)、刃先が左手指の先 に当たり損傷した。	47	8	131	10 ~ 29
95	2009 6	13~ 14	皮革工場内で皮を機械操作中、誤って枠の中に足を入れたため に、右足指を負傷した。	63	3	379	10 ~ 29
96	2009 5	10~ 11	皮革工場内で、セッターという機械を使い、作業をしていた 時、皮に手を取られて、滑らせてしまい、左手を挟まれ負傷し た。	48	7	169	1~ 9
97	2009 4	11~ 12	工場内設備を配置替えの際、ミシンを移動させるために、リフトを使用した。1Fリフトから中にあるミシンを引き出す時、リフトの天井が低いので上方向に持ち上げる事が出来ず、無理な姿勢で力を入れた。その際、背骨に負担がかかり負傷した。	70	19	612	1~
98	2009 4	13~ 14	工場の清掃作業中、脚立を掛け、吹付ブースを清掃していた際 に、脚立から落ち負傷した。	58	1	371	50 ~ 99
99	2009 2	7~8	会社駐車場において、車から降り工場に向かって歩き出したと ころ、凍結路面により滑って転倒し、足首を骨折した。	27	2	417	50 ~ 99

100			13~	工場内で薬品を運んでいる時、手を滑らせ、薬品が眼にかかり		12		10			
	0 200	009 1	09 1	19 1	009 1	2009 1	14 負傷した。	29	12	514	~ 29

出典:https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考: 労働災害の分類の概要

各小業種における死傷災害100事例(-2017年)に戻る。